

通院を、待たずにいつでもどこでも簡単に
Project Curatio (クラシオ)
~Cure for Everyone~

株式会社Revi / 株式会社Michele / 東京都港区
(02/2021)



Team (チーム紹介)

【会社概要】

- ・株式会社Revi(レヴィ)(MS法人) ※応募団体(株式会社Michele)からスピンオフ

【事業概要】(以下予定)

- ・医療系サービスプラットフォームの運営
- ・医療系コンサルティング、データ分析・解析業務
- ・診療所、介護施設、薬局運営

【主要メンバー】



Founder&CEO - 山田大典

- ・東京大学文学部卒。外資系コンサルティングファーム、日米のスタートアップ、KDDI株式会社の担当部長(新規事業開発担当)を経て現職。
- ・東京大学大学院 情報学環 客員研究員(越塚研究室)



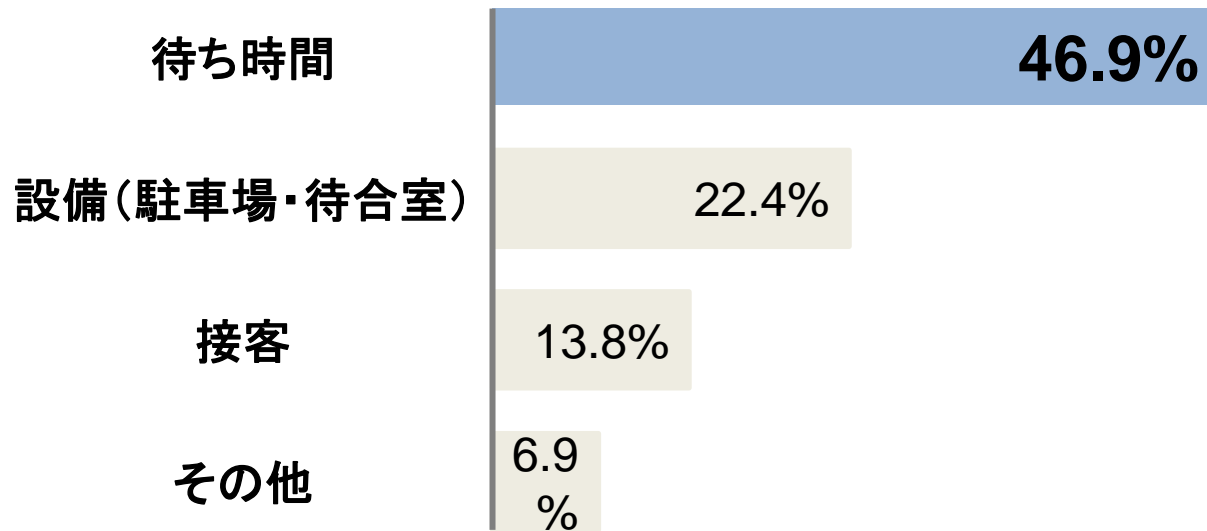
医師 - 石川雅俊(博士)

- ・筑波大学医学専門学群卒業。総合病院の内科医、KPMGヘルスケアジャパン株式会社、国際医療福祉大学、厚生労働省 医政局総務課などを経て、現職
- ・診療所を8店舗運営
- ・医療法人社団ビーンズ理事長、国際医療福祉大学大学院 准教授

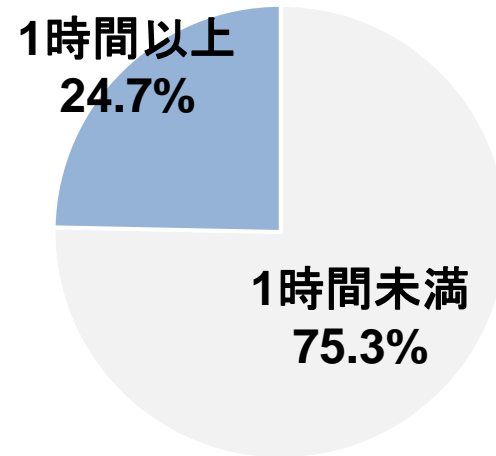
Problem (医療現場の課題)

外来患者の一番の不満は、診療の待ち時間である。
約4人に1人が1時間以上待ち、その時間は(経済的に見ても)大変勿体ない

外来患者の一番の不満は待ち時間。
2人に1人の患者が待ち時間の長さにご不満(*1)



外来患者の4人に1人は1時間以上待っている。
年間の総待機時間は、約32.1兆円の機会損失(*2)



$$\begin{aligned} & \text{診察回数: } 12.6 \text{ 回/年} \\ & \times \\ & \text{総人口: } 126 \text{ 百万人} \\ & \times \\ & \text{賃金平均: } 33 \text{ 万/月} \\ & \doteq \underline{\underline{32.1 \text{ 兆円}}} \end{aligned}$$

*1: メディネット調査「外来患者の不満トップ10」を当社が独自に集計

*2: 厚生労働省統計、財務省統計より抜粋したものを当社が独自に集計

Problem (医療現場の課題)

慢性疾患の患者は、通院は億劫で、手間暇かけずにお薬だけもらいたい
約8%の方が、通院を怠り・治療を中断し、重篤化・合併症リスクを抱えている

慢性疾患・継続的治療を伴う疾患一覧(当社独自調査)

慢性的/周期的

- ・基礎疾患(300万)
心・腎・肝・血液・神経・
内分泌・消化器・HIV
- ・高血圧(1,000万)
- ・糖尿病(330万)
- ・高脂血症(200万)
- ・肥満??(?万)
- ・ED(100万)
- ・AGA(100万)
- ・便秘(100万)
- ・痛風(100万)
- ・がん治療
- ・小児疾患・ぜんそく、癲癇

断続的

- ・肌荒/水虫(100万)
- ・ピル(60万)
- ・メンタル(300万)
- ・リウマチ(100万)
- ・痔(1,200万)
- ・腰痛(1,000万)
- ・がん検診(1,000万)
- ・フレイル(370万)
- ・人間ドック(300万)
- ・認知症(70万)
- ・不妊治療(50万)
- ・予防接種・注射治療
- ・形成外科のリハビリ

厚労省調査による糖尿病の受信中断状況と理由

かかりつけ医の先生方へのアドバイス

(「糖尿病受診中断対策マニュアル」より抜粋。具体的な解説についてはそちらを参照されたい。)

受診中断者の特徴

- 受診中断率は年8%程度と推定される。
- 受診中断は男性で仕事を持っている人に多い傾向がある。
- 高齢者に比べ、若年者(50歳未満、とくに20~30歳代)で受診中断が多い。
- 血糖コントロールの悪い人(HbA1cが8%以上)、または、かなりよい人にも多い。
- 過去に受診中断をした人の受診中断率は高い。

受診中断の理由

- 受診中断の理由としては、治療の優先度の理解(忙しいから、など)や疾患への認識(体調がよいから、など)の不足が挙げられる。
- 医療費が経済的に負担であることも受診中断の理由として多い。

Problem (港区の課題)

第4章 健康づくり・ 保健分野

- 1 感染症対策の強化・推進 p. 124
- 2 安心できる地域保健・地域医療体制の推進 p. 129
- 3 子どもの健康を守る体制をつくる p. 134
- 4 健康づくりの積極的支援 p. 138
- 5 がん対策の強化・推進 p. 145
- 6 快適で安心できる生活環境の確保 p. 149

49事業 (うち 新規 10事業)

- 新型コロナウイルス感染症等新たな感染症への対応 p. 127
- 医療依存度が高い人への支援体制の整備 p. 132
- 職場のメンタルヘルスの推進 p. 143
- 若者の自殺予防に向けた取組の推進 p. 143
- 死亡率減少効果の認められたがん検診の推進 p. 147
- がん検診の受診率の向上を目的とした検診体制の充実 p. 147
- がん検診の質の向上 p. 147
- がん相談の充実 p. 148
- がんの知識に関する普及・啓発 p. 148
- がん治療と仕事の両立支援 p. 148

第6章 地域福祉分野

- 1 港区ならではの地域包括ケアの推進 p. 164
- 2 港区の地域福祉を支える活動の支援 p. 171
- 3 成年後見制度の理解と利用の促進 p. 176

31事業 (うち 新規 17事業、年次計画 1事業)

- 地域課題等への対応力の強化 p. 166
- ★● 福祉総合窓口の設置 p. 167
- 関連機関等との連携の強化 p. 167
- 複合的な課題に対応できる体制づくり p. 167
- 医療・介護従事者に向けた連携の推進 p. 168
- 相談機能の強化と連携 p. 169
- 地域で活動する団体との連携 p. 169
- 在宅生活を支援する仕組みづくり p. 169
- 区民等に向けた啓発 p. 170
- 医療機関等に関する情報の発信 p. 170
- 関係団体との連携強化 p. 170
- 制度の利用のしやすさの向上 p. 178
- 利用者の意思決定支援や身上保護の観点を重視した運用 p. 178
- 権利擁護支援の地域連携ネットワークの活用 p. 179
- 成年後見等の担い手の確保 p. 179
- 制度の周知・啓発 p. 180
- 制度の適正な運用の促進 p. 180

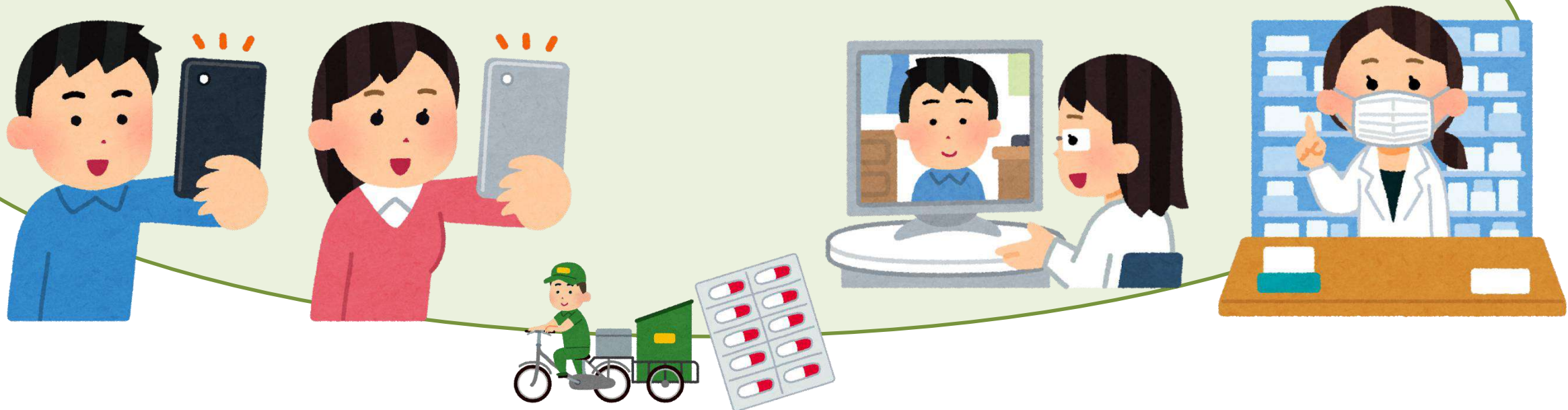
「港区地域保健福祉計画等(素案)及び関連計画についてのご意見」より当社にて抜粋

<https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/kuseiken/201201-hoken01.html>

Solution（「クラシオ」プロジェクト）

「クラシオ」は、いつでも、どこでもお医者さんの診察が受けられて、ご自身のいる所に薬を届けてもらえる医療サービスです。

- ①患者はいつでも、どこでもオンライン・対面で診察が受けられる
- ②自宅・職場・介護施設など、希望の場所に薬を届けてもらえる



Solution (サービス業務フロー、将来構想を含む)

診察

診療所内外のドクターが診察
処方箋作成し院内処方指示



診療所内



診療所外
作業所



院内処方

患者住所に応じて、調剤場所を決定し、拠点事務が医師の監修のもと、配送準備を実施



東京都
渋谷区拠点



北海道
小樽市拠点



兵庫県
淡路島拠点



熊本県
宇城市拠点



配送

診療所内事務または配送業者により、拠点内の配送準備ができた薬を患者に配送し、業務完了



渋谷区
●-●-●-101



小樽市
●-●-2202



淡路島
●-●-178



宇城市
●-●-211



How It Works (ステークホルダーへのメリット)

ステークホルダー	価値
港区民の皆様	<ul style="list-style-type: none">・ 三密回避による、自宅での安全な治療活動の実現・ 患者の治療の手間の軽減・ 患者の医療費の軽減 (オンライン診療の診療報酬は対面より安価になるため、 また院内処方も薬局での調剤より安価になるため)
港区	<ul style="list-style-type: none">・ 区民の早期診療・早期予防による健康増進活動の活発化・ 地域ぐるみでの包括ケアの知見の蓄積
診療所・医療機関	<ul style="list-style-type: none">・ 患者の治療中断を防ぐことによる、医療活動の改善・ ICTを活用しての新しい医療活動への挑戦・ 診療領域/方法の拡大による認知向上・患者の獲得・稼働率向上・ マーケティング、コンサルティングの専門家との連携による 経営効率の包括的改善

Case（渋谷駅前まめクリニック様にての推進事例）



まめクリニック

まめクリニック渋谷店オープン記念

EDにおなやみのあなたへ

オンライン診療・薬の配送 サービス開始

先着50名限定
お薬配送料無料！3/31まで

[オンライン診療予約はこちら >](#)

受診・お薬配送の流れ



まめクリニック

まめクリニック渋谷店オープン記念

糖尿病におなやみのあなたへ

オンライン診療サービス開 始

[オンライン診療予約はこちら >](#)

受診の流れ

Cooperation (港区との連携案)

医師 - 患者
(D2P)

医師 - 医師
(D2D)

その他

従来の医療行為に
ICTを活用するケース

- ・オンライン診療・薬の配送
- ・オンラインの健康指導
- ・オンラインの検診など

※4Gでも対応可能だが
5G技術の成熟・普及まで
本領域も推進

- ・エコーの映像診断や
聴診器の音を転送し
遠隔地の専門医により
診療活動をサポート

※5G技術にて実現

※今後協議

新しいICTデバイス/
通信を活用して
治療を支援するケース

- ・Apple Watch外来
- ・5G画像/VR技術を活用
してのオンライン診療

※5G技術にて実現

※今後協議

- ・バイタルデータを活用した
健康増進活動・予防医療
- ・がん、糖尿病、高血圧等
重点領域の予防治療、
検診のサポート

※5G技術を中心に実現

Cooperation (役割分担)

ステークホルダー	役割分担
港区	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の医療機関に対する情報発信支援や場の設定・ (都度)区民・区の医療機関からの施策フィードバック
診療所・医療機関	<ul style="list-style-type: none">・ 医療行為・ 院内処方在庫手配(Reviでも手配可能)
Revi (Michele)	<ul style="list-style-type: none">・ マーケティング(集客・SNSによる認知拡大)・ 業務フロー整備サポート・システム・薬・配送ロジスティクスの手配・ 患者をモニターにしてのインサイトマーケティング・ データを活用しての分析業務・ 関連ステークホルダーとの調整

Schedule (今後の予定)

●スケジュール素案

- ・R3上半期: 各パッケージの実証実験と効果検証の実施
- ・R3下半期: 各パッケージの改善、必要に応じてシステムソリューション開発
- ・R4: 本格運用

●実証実験の推進ステップ

- 1: 企画の詳細化・港区/Reviでの医療機関への告知
- 2: 趣旨に賛同するクリニックとの連携方針の協議
 - ・診療科目の選定
 - ・例えば...高血圧、糖尿病、ED、AGA、ピル、アンチエイジングなど
 - ・1回目は問診、2回目以降は都度オンライン、半年に1度検査を実施
 - ・業務方針の決定
 - ・処方の方針、ICTツールの決定、ロジスティクスの整備、必要に応じて特許や知財の権利分担など
 - ・安全を担保するための管理方針の策定
- 3: 小規模リリース(実際の患者様をベースに業務運用)
- 4: 振り返り
 - ・患者様の安全管理、満足度調査と改善方針の検討
 - ・診療所側の経営上/業務上のメリット/デメリットの振り返りと改善施策の検討